

2023年度活動計画及び収支予算

我が国の森林・林業を巡る情勢については、低い収益性や林業労働者の減少・高齢化により極めて厳しいものがある。一方で、戦後造成された森林資源は成熟化して伐採期を迎えるとともに、ICT(情報通信技術)の発展や高性能林業機械の導入の進展、そしてCLT(直交集成板)やバイオマス発電など新たな木材需要の創出といった未来に向けた明るい展望も見え始めている。このような動きを受けて、伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を可能とする“新しい林業”を実現するためには、低い生産性や高い労働災害率といった林業特有の課題を解決するとともに、さらなる新技術の導入、植栽樹種や造林システムの多様化などを図る必要がある。このため、令和5年度の研究テーマは、「“新しい林業”と技術革新」ということで、以下のことに取り組む。

1. 定例研究会 月1回程度開催
2. 共同取材 年間テーマに基づき年3回実施
3. 会報の発行 林政ジャーナルを年3回発行
4. 幹事会 月1回開催(原則として毎月第2水曜日)
5. ホームページによる情報発信
6. 収支予算

2023年度収支予算

2023年度(2023年4月～2024年3月)の収支決算

(単位:円)

項目			前年度予算	本年度予算	備考	
収入	前期繰越金		3,732,006	3,143,801		
	1	会費 個人会員	当年度会費	154,000	350,000	7,000×50人
			経年度未収分	42,000	0	
			個人会費計	196,000	350,000	
	2	会費 団体会員	当年度会費	380,000	360,000	20,000×18 団体
			経年度未収分	40,000	0	
			団体会費計	420,000	360,000	
	会費収入合計		616,000	710,000		
	2 雑収入		80,000	80,000		
	当期収入合計		696,000	790,000		
合計		4,428,006	3,933,801			
支出	1	研究会費	講師謝礼	140,000	120,000	講師4名
			会場費	40,000	40,000	研究会4回
			小計	180,000	160,000	
	2 共同取材費		80,000	200,000		
	3 会報発行費		150,000	300,000		
	4	会議費	総会費	200,000	20,000	
			幹事会費	20,000	20,000	
			小計	220,000	40,000	
	5	事務局費	通信費	50,000	50,000	
			広報・印刷費	0	100,000	HP 維持費
			事務用品費	8,000	10,000	
			会長活動費	12,000	20,000	
			小計	70,000	180,000	
	6 雑費		20,000	20,000		
7 予備費		10,000	10,000			
当期支出合計		730,000	910,000			
当期収支差額		△34,000	△120,000			
次期繰越額		4,394,006	3,023,801			